

平成13年10月 2日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

平成13年度広島大学大学院秋季入学式での配布資料について

このことについて、本で行われました入学式で配布いたしました下記資料をお送りいたします。

記

1. [学長訓示](#)
2. [平成13年10月入学 志願者・合格者・入学者一覧](#)

【お問い合わせ先】

広島大学総務部総務課総務係長
飛田郁也
TEL: (0824) 24-6016
(ダイヤルイン)

[発信枚数; A4版 3枚(本票含む)]

学 長 訓 示

平成13年度大学院秋季入学生のみなさん、ご入学おめでとございます。広島大学を代表して心からお慶び申し上げます。

今回は、博士課程前期に36名、博士課程後期に41名、合計77名の方々をお迎えすることになりましたが、この中には昨年度から取り入れているフェニックス入学のみなさんも5名おられ、この試みが着実に育っていると感じ、大変嬉しく思います。大学院の秋季入学制度そのものも平成6年度から導入されて、今年で8年目を迎えており、広島大学の入学制度の一環としてすっかり定着しました。

広島大学では、大学のマスタープランに従い、世界トップクラスの特色ある総合研究大学として発展することを目指しています。ここで、総合研究大学というのは、米国でリサーチユニバーシティとよばれているものに相当し、カーネギー分類によると、全領域の学部教育プログラムが完備し、大学院教育が充実しており、課程博士の学位授与状況が良好で、活発な研究活動の下に優れた研究業績が数多くみられるなど、教育研究の拠点性を備えた大学をいいます。広島大学は総合研究大学としての条件は十分に満たしています。私達は、その上で、本学を世界トップレベルの教育研究実績を備えた大学とするべく努力しているのです。そのために、本学独自の教養的教育と専門的教育に支えられた学士課程教育を更に充実させ、それを基盤として大学院教育の一層の整備に努めるとともに、基礎的・先端的研究の更なる活性化を図り、特色ある大学づくりをしようとしています。

一方、国立大学をとりまく環境は、このところ、激変しようとしています。中でも、本年6月に文部科学省から示された「国立大学の構造改革の方針」では、大胆な改革プランが述べられております。本学では、この改革プランに積極的に対処して、構成員の意識改革をはかり、大学の組織改編を着実に実行したいと考えています。世界トップレベルの総合研究大学として備えるべき資質を明確化し、それを満足させる努力を続けます。

このような理念と目標を持った広島大学に入学した皆さんも、本学の方針をよく理解して各自の研究を推し進め、世界トップクラスの研究成果を上げられることを期待しております。これから、皆さんが目を輝かせてそれぞれの研究に取りかかり、各自の目標を達成すべく邁進されることを願っています。

以上をもって、お祝いの言葉といたします。

平成13年10月2日 広島大学長 牟田 泰三

平成13年10月入学志願者・合格者・入学者一覧

	博士課程前期			博士課程後期・博士課程		
	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
文学研究科 (フェニックス(内数))	2 (1)	1 (0)	1 (0)	—	—	—
	2 (1)	1 (0)	1 (0)			
社会科学部研究科 (フェニックス(内数))	6 (3)	6 (3)	6 (3)	0	0	0
	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
理学研究科	0	0	0	2 (1)	2 (1)	2 (1)
先端物質科学研究科	—	—	—	7 (0)	7 (0)	7 (0)
医学系研究科 (フェニックス(内数))	2 (1)	2 (1)	2 (1)	10 (4)	9 (3)	8 (3)
	2 (1)	2 (1)	2 (1)			
工学研究科	0	0	0	15 (1)	15 (1)	15 (1)
生物圏科学研究科 (フェニックス(内数))	4 (4)	4 (4)	4 (4)	—	—	—
	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
国際協力研究科	37 (15)	23 (9)	23 (9)	12 (7)	9 (7)	9 (7)
計 (フェニックス計(内数))	51 (24)	36 (17)	36 (17)	46 (13)	42 (12)	41 (12)
	6 (4)	5 (3)	5 (3)			

※()は女子で内数